

事業所名

児童デイサービスわんず（児童発達支援事業所わんず）

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

6日

法人（事業所）理念		児童デイサービスわんずは、「子どもと親の笑顔をつくる。」の理念に基づき、子ども、親の笑顔で明るい未来を実現するために、様々な角度からサポートを行いたい。 ・できることを増やせるようなサービスを提供できるよう努める。 ・基本的な生活習慣を身につけ社会性を育むことを目指す ・家族に寄り添った支援をする									
支援方針		「児童発達支援ガイドライン」に則り、子どもの「できた」「やってみよう」「たのしい」の気持ちを大切に、子どもが主体的に日常生活における基本的動作及び知識技能を習得できるように支援する。また、生活能力の向上のために必要な経験が出来るような環境を提供し、社会との交流を図ることができるよう、当該児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて個々に合わせた適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。									
営業時間		平日	10時	00分	から	19時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	着替えや食事、排せつ、移動等の日常動作の指導や訓練を行い、生活に必要な基本的スキルの獲得を支援します。 来所時のルーティン（所定の場所に荷物を置く、入れるなど）の定着を図り、スムーズにスタートできるよう取り組みます。									
	運動・感覚	様々な遊び、運動を通して基本的運動機能の確立及び体力の向上を目指すとともに、できることを増やし、伸ばし、自信や意欲につながる支援を行います。 運動、音楽を通じて周囲とのかかわりを深めたり、様々な感覚（視覚、聴覚、触覚など）に触れることで発達を促していきます。									
	認知・行動	活動を通じて、順番を待つ、絵本を聞く、など静かに過ごす時間と自由に遊ぶ、動く時間を明確に分けて、メリハリを持って過ごすことのできるような支援を行います。 見通しを持って行動ができるよう視覚的（身支度カード等）、聴覚的（ルールの確認、時間を確認する）に支援を行います。 感覚遊び（パズル・ブロック・制作活動）から大小比較や重さ、色の違いを習得するための支援を行います。									
	言語 コミュニケーション	絵カード、指さし、身振り、サイン等を用いて、コミュニケーションの手段を増やしていける支援を行います。 物の名称や生活の中での必要な言葉を活動の中で習得し、自分の気持ちや思いを適切に相手に表現できるよう支援します。									
	人間関係 社会性	友達や職員との信頼関係を構築し、安心できる場所の提供を行います。 運動や制作活動、おやつ作りなどを通じて、ルールを理解し、楽しみながら集団活動に参加できるように支援をします。 運動では粗大運動をメインに、制作活動などの場面では微細運動をメインに行い、遊びの範囲を広げるだけでなく、社会性や集団参加の基礎を育てています。									
家族支援		定期的な面談を通じて、悩み、状況、課題などの把握に努め、イベントを通じて、保護者同士の交流の場を提供します。また、専門家を交えて、家庭でできることを提案していきます、子どもの変化を共有していきます。				移行支援		放課後等デイサービスの利用意向の聞き取りを行っています。就学に向けてスムーズに移行できるよう、多機能型の利点を生かして様々な機関（保育園、幼稚園、こども園、相談支援など）との連携を図ります。			
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携を図り、情報共有を行います。 保育園、幼稚園、こども園への訪問などを通じて連携を図ります。				職員の質の向上		支援前、支援後にミーティングを行い、事業所内の支援方法等に関する情報を共有します。 全体研修の実施（障害特性の理解、虐待防止、身体拘束、関係法令の理解、緊急時の対応、感染症予防、事故防止対応など）			
主な行事等		お誕生日会、こどもの日、七夕、夏祭り、水遊び、ハロウィンイベント、クリスマス会、初詣などの各季節に合わせた行事を実施しています。その他、避難訓練（火災・地震）や公共施設、公園などへのお出かけを実施しています。									